

第5学年 国語科学習指導案

日 時：平成24年11月16日（金）

指導者：1組 三浦 達美

：3組 柏崎 裕子

1 単元名 提案しよう！図書館利用アップ作戦！

2 教材名

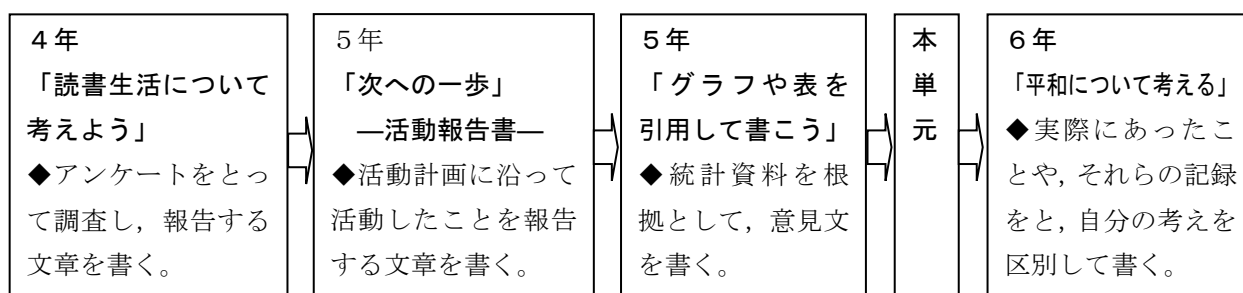
(1) 中核教材名 「わたしたちの『図書館改造』提案」（光村図書 5年）

(2) 補助教材名 提案書モデル文（指導者作成）

3 単元を貫いて位置付ける言語活動とその説明

- ・自分の読書への取組や図書館利用について振り返り，読書や図書館への関心を深めさせることができる。
- ・他校の図書館の写真やインターネット検索資料，取材結果，データ資料などのテキストを収集し，自分にとって必要なテキストを選択し，引用したり，活用したりする力を付けることができる。
- ・図書館利用についての問題点を調べ，情報をまとめる力や問題点を基にして解決策を考え出す力を付けることができる。
- ・「問題点」「提案理由」「提案内容とその効果」という提案書の構成を理解し，一貫性をもたせることにより，自分の考えを明確伝える力を付けることができる。
- ・提案書を読んで観点に即して助言する力や，助言を生かして自分の考えを深めたり表現を工夫したりする力を付けることができる。

【言語活動の系統】



4 単元について

(1) 児童について

児童は，4年「読書生活について考えよう」で，自分達の生活についての課題を立て，アンケートをとって調査し，考察したことを報告する文章を書く学習をした。また，5年「次への一歩—活動報告書—」では，林間学校の体験を基に事実と感想を区別して，活動報告書を書く学習を行った。

これまでの学習を通して，ほとんどの児童は，調査報告文，活動報告書等の文種の様式に沿っ

て、モデル文を活用して事実と意見とを区別して書き表すことができるようになってきた。しかし、事実や意見、感想等の区別を意識せず記述する児童が、一部見られる。また、教材のモデル文の型に沿って事実を端的に表すことはできても、自分の考えを明確にもち、文章の構成や表現を工夫して記述することについては支援を必要とする児童が5、6名程いる。さらに、推敲の観点に沿って表記の間違いを直すことはできても、構成や表現の仕方に着目して、自分の伝えたい事柄がよりよく伝わるように推敲できる児童は少ない。

交流については、自分なりの根拠を基にして意見や感想を話すことができるようになってきた。交流により気付いた点や考えが深まった点を付け加えて記述し、自分の学習に生かそうとする態度も見られるようになってきた。しかし、「書くこと」の学習における交流では、書いた文章を読み合っただけで表記のよさにふれた意見や感想を述べることはできるが、書き手の意図がより伝わるようにするために、改善点を見付けて具体的に助言する力は十分に身に付いていない。

読書については、本校の「読書アンケート」の結果を見ると、ほとんどの児童は読書が好き、楽しいと感じている。しかし、学級文庫の本はよく読んでいるが、図書館に足を運び、進んで図書館を利用している児童は半数程度である。読書のジャンルにも偏りが見られる。図書館の利用を日常化させることが課題である。

(2) 教材について

中核教材「わたしたちの『図書館改造』提案」は、「提案書を書く際の具体的な過程」、「図書館利用を増やすためのアイデア例」「提案書の文例」の大きな3つの要素で構成されている。提案書を初めて書く児童が提案書を完成させるまでの問題解決の過程を具体的にイメージしやすい構成になっている。また、中核教材で示されているいくつかのアイデア例は、児童が問題解決につながるアイデアを集める活動において、手がかりとなるものである。「図書館改造」という題材も図書館に関心を向けさせる機会を設けるのに最適であると考えられる。

補助教材のモデル文は、中核教材の中の〈竹内さんの提案書〉に「提案の効果」の記述例を指導者が補ったものである。提案書の例文は、考えに一貫性があり、考えの根拠となる事実や理由が明確で簡潔に表現されているが、「提案の効果」の部分が割愛されている。提案書を初めて書く児童にとって、具体的にどのような内容を記述すればよいのか戸惑うことが予想される。そのような児童に本補助教材を与えることによって、提案書の構成について、より具体的なイメージをもたせ、記述の際に活用させる。

これらの学習材を活用して、問題解決の過程の体験を通して考え出した案を提案書に書いて伝える活動は、調べ学習の基礎として総合的な学習の時間や他教科の学習の中にも生きていくことが期待できる。また、提案が実行されることで活動に達成感や価値が見い出され、図書館や読書へのより主体的な関わりが生まれてくることも期待できる。

(3) 指導に当たって

本単元では、図書館利用者を増やすための方策を考え、提案書に書いて提案する言語活動を行う。まず、図書館利用についての現状を現地調査やアンケート、インタビューなどからとらえさせ、問題点をつかませる。次に、それらの問題をどのようにしたら解決できるかを他校の図書館や書店、公立図書館の工夫などを参考にして、各自のアイデアを練らせていく。最後に集めた情報を基にして考えたアイデアを、構成や表現を工夫して提案書にまとめさせていく。具体的には、以下のような手だてをとることにより、指導目標にせまりたい。

〈第一次〉

○本学習をしていくことへの意欲付けや学習の目的をもたせるための手だて

- ・自分達の提案を図書委員会に採用してもらおうという目的をもたせ、「書きたい」「伝えたい」という思いや願いを引き出すために、事前に図書委員会に「図書館利用者」を増やすためのアイデア募集の呼びかけを行ってもらう。
- ・図書委員会担当教諭による図書館利用状況についての話や学年の読書状況のグラフの提示から、図書館利用についての問題意識をもたせる。
- ・教師自作の提案書のモデルを提示し、提案書のイメージや作成の見通しをもたせ、提案することへの意欲を引き出す。

〈第二次〉

○提案書の「構想」「記述」「推敲」の学習を進めていくための手だて

〈構想〉

- ・他校の図書館や書店の工夫の写真資料を参考にしたり、公立図書館の利用者を増やすための工夫を取材したりする活動を通して、解決策の案を練らせる。
- ・考えが浮かばない児童には、友達の助言、教科書で紹介されているアイデアや他の図書館の取組の情報を手がかりにして個別に支援を行い、伝えたいという願いを引き出す。
- ・具体的なアイデアの交流を通して互いの提案について、問題となる点はないか、効果のあるものか、疑問を出し合わせ、自分の考えや提案内容を明確にさせていく。

〈記述〉

- ・教師自作の提案書のモデル文から、具体的で「説得力をもたせるための技」(表・グラフ・図解・ランキング・反対意見に対する反論)を見付け出させ、その中の技を一つ使って、記述させる。
- ・提案書を書く作業が進まない児童や自力で書き進めさせていくための支援として、中核教材文例や提案書モデル文を活用させ、記述させる。

〈推敲〉

- ・はじめに、具体性に欠け、論の進め方があいまいな下書きの例文を提示し、修正点を話し合わせることで、推敲の観点を明確にもたせる。「考えに一貫性があるか」「具体的で説得力のある表現になっているか」等について、観点到して相互評価させ、付箋紙に良い点や改善点を書いて交流させる。相互評価により、構成や表現の工夫を見付けさせることで、自分の表現を見直し、さらによりよい文章にするために推敲することの大切さを感じ取らせていく。

〈第3次〉

○互いの提案書を読み合い、交流する場の手だて

- ・完成した提案書を読み合い、「どこが説得力のある書き方か」「提案に対して、自分はどうか考えるか」の視点で感想交流させる。
- ・出来上がった提案書は、全員分を冊子にして図書委員会に提出し、効果のありそうな提案は、実際に具体化してもらおう。学習したことが実の場に生きる体験を通すことで、図書館をより身近な場として利用しようとする態度を育てていく。

5 単元を通して育てたい読書力

- A 自らの読書生活を振り返り、読書の意欲をもち続け読書を習慣化する力
- C テキストを活用して思考し課題を解決する力

6 単元の指導目標

- ◎ 自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果、表現の効果などを考えて提案書を書くことができる。(B書くこと イ)
- 提案書を読んで、表現の仕方に着目して助言することができる。(B書くこと カ)
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ))

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことを伝えたいという願いをもち、それが伝わるように効果的に表そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を明確に表現するために、提案書の構成や集めた材料の構成を考えて、提案書を書いている。(イ) ・書き手の意図を踏まえながら文章を読み、構成や表現の工夫に着目して、具体的に助言している。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書の構成を理解している。(イ(キ))

8 指導計画 (B書くこと8時間 学活1時間)

次	時	○目標 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価(方法)	テキスト
一	1	<p>○学習の見通しをもち、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会担当教諭の話聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ①図書館利用の状況について ②図書館利用促進のための工夫点 ③児童への希望 など ・図書館利用状況のグラフ(今年度の学年毎利用者人数)から現状を大まかにとらえる。 <p>学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>図書館利用を増やすために、相手が納得できるような提案書を書いて考えを伝えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師自作の提案書のモデルから提案書のイメージをもつ。 ・提案書を書いて提案するために必要な学習は何かを考え、学習計画を立てる。 ・自分の読書生活や図書館利用について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書委員会に「図書館利用」を増やすためのアイデア募集の呼びかけを事前に行ってもらおう。 ○図書館で、図書委員会担当教諭の図書館利用の状況についての話を聞いたり、学年の読書状況のグラフを提示したりして図書館利用についての問題意識をもたせる。 ○効果のありそうな提案意見は、図書委員会に採用してもらおうという目的意識をもたせ、学習への意欲を喚起する。 ○図書館利用の現状をとらえ、改善策を考え、提案書に書いて伝える力を付けていくことが本単元の学習の目的であることをとらえさせる。 ○提案書のモデルの提示により、提案書の構成や提案書作成の見通しをもたせる。 ○貸出カードを基にして自分の読書傾向や図書館利用について振り返らせ、図書館利用への関心を深めさせる。 ☆学習のゴールのイメージをもち、提案することへの意欲をもつことができたか。 (ワークシート・発言) 	

一	2	<p>○提案書の素案を聞き，提案内容の構想を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案書の基本構造に沿って提案書の素案を書く。 ・提案書の素案を基に提案内容を交流し，提案内容をより具体化する視点をもつ。 <p>○現状をとらえるための調査計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状をとらえるための方法を考える。（観察，アンケート，インタビュー等） ・調査計画を立てる。（調査の内容・方法） 	<p>○提案書の素案をつループで話し合わせ，提案の根拠となる現状把握を明確にするために，調査の必要性をもたせる。</p> <p>☆現状分析の観点をもつことができたか。（ワークシート）</p> <p>○図書館利用の現状を明確にするためにもっと調べてみたい点を考えさせる。</p> <p>○これまでに行った調査方法を振り返らせ，調査内容や方法を検討させる。</p> <p>☆調べてみたい事柄を決め，調査内容や方法を記述することができたか。（ワークシート）</p>	
二	3	<p>○実態調査を基にして，図書館利用の問題点を解決するためのアイデアを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決策をイメージマップに書き込み，一番実現可能で効果のありそうなアイデアを決める。 	<p>○実態調査の結果から浮かび上がった問題点を出し合い，解決策をイメージマップに書かせながら，様々な視点で策を練らせる。</p> <p>☆図書館利用についての解決策を考えることができたか。（ワークシート）</p>	アンケート・取材資料
	4	<p>○問題点を解決するための具体的なアイデアの構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の具体的なアイデアをアイデアシートに書く。 <p>※以後，他校の図書館利用の工夫や書店，公立図書館の見学や取材などから参考となる情報を集め，アイデアシートに加除修正していきながらアイデアを練る。</p>	<p>○インターネットで他校の図書館利用の工夫を調べたり，地域の図書館，書店の工夫から参考となる情報を収集したりして，アイデアを練る時間を十分に確保する。</p> <p>○県立図書館の見学学習を取り入れ，公立図書館司書の方から利用者を増やすための工夫について取材する。</p> <p>☆図書館利用についての具体的な解決策を考えることができたか。（アイデアシート）</p>	<p>他校の図書館・書店の写真</p> <p>インターネット検索資料</p> <p>見学の取材メモ</p>

<p>二</p> <p>5 （二組 本時）</p>	<p>○問題解決の具体的なアイデアを交流し、自分の考えを明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の問題点を踏まえた自分のアイデアをグループで発表する。 ・グループで疑問に思った点を質問したり助言し合ったりして各自のアイデアについて検討し、提案内容を吟味する。 <p>〈視点〉</p> <p>①提案には、問題となりそうな点はないか。</p> <p>②提案は、数量や時間、場所などが具体的か。</p> <p>③提案は、効果を上げることができるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のアイデアを見直し、アイデアシートに加除修正を加える。 ・全体でアイデアを出し合い、比較する。 ・出されたアイデアについて、感想交流する。 <p>①本の魅力を伝える。 (おすすめの本、作者紹介コーナー・さし絵コンテスト・読書リレー・本の帯・ポップの活用など)</p> <p>②図書館をより魅力的な場所にする。 (入り口や本箱に物語の主人公の絵を掲示・人気ランキングの本コーナー・お話の世界を味わうコーナー など)</p> <p>③イベント (雨の日の読み聞かせ会・お話会・紙芝居、ペープサートの日・手作り絵本コンテスト など)</p>	<p>○グループで各自のアイデアについて質問し合い、「提案に問題となりそうな点はないか、効果のある内容であるか」等の視点で検討させる。</p> <p>○交流の際は、問題点とそれに対する具体的なアイデアとを関連付けて話合ができるように交流の視点を示す。</p> <p>○グループで交流して深まった考えをメモし、具体的なアイデアの構想を見直させる。</p> <p>○解決策を短冊に書かせて発表させ、感想を交流させる。</p> <p>☆交流を通して、解決策のアイデアを見直し、より確かなものに行うことができたか。(アイデアシート)</p>	
<p>6</p>	<p>○提案書の書き方を確認し、下書きを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案書モデル文を基にして、提案書の構成や書き方を確認する。 ・アイデアシートを基に、提案書の下書きを書く。 <p>〈記述の観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えに一貫性をもたせる。 ・具体的で「説得力をもたせるための技」を一つ使う。 	<p>○提案書のモデル文から、提案書の構成や内容、ポイントを確認させる。</p> <p>○提案書モデル文や書き方の手引きを活用させながら、記述の観点を基にして記述させる。</p> <p>○「説得力をもたせるための技」を使って記述させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表・グラフ・図解・ランキング・反対意見に対する反論 <p>☆構成を考えながら、提案書の下書きを書くことができたか。(提案書下書き)</p>	<p>提案書 モデル文</p>

7 (三組 本時)	<p>○各自の提案書の下書きを読み合い、観 点に即して相互評価し合う。</p> <p>・提案書の下書きの例と推敲後の文例を 比較し、修正箇所を話し合い、分かり やすく説得力のある提案書の書き方 について確認する。</p> <p>〈観点〉</p> <p>① 提案に一貫性があるか。</p> <p>② 具体的で説得力のある表現にな っているか。</p> <p>・グループで提案書を読み合い、相互評 価する。</p>	<p>○提案に具体性がなく、問題を解決す るための意見の記述としては不十分 な下書きの文例を示し、どこをどの ように修正すると説得力のある提案 になるのかを話し合わせ、具体的な 提案の表現の仕方についてとらえさ せる。</p> <p>○アイディアシートと下書きを比較しなが ら観点に即して相互評価させる。</p> <p>○下書きを読み合い、付箋紙に良い点 や改善点をメモして相手の下書きに 貼らせ、交流させる。</p> <p>☆提案書の下書きを読み合い、相互評 価により、自分の考えを深めること ができたか。(交流の様子・提案書)</p>	
8	<p>○相互評価で出た意見を参考にしなが ら推考する。</p> <p>・提案書の下書きを推考する。</p> <p>○推敲した下書きを清書する。</p> <p>・下書きを読み直し、清書する。</p>	<p>○相互評価で出た意見を参考にしなが ら、よりよい文章に書き直させる。</p> <p>☆相互評価で出た意見を参考にし、 下書きを読み直し、推考することが できたか。(提案書の下書き)</p> <p>○相互評価で出た意見やモデル文を参 考にして、自分の考えが伝わるよう に文章の構成や表現を確かめながら 清書させる。</p> <p>☆ほかの児童の意見を取り入れて、自分 の考えが伝わるように修正しながら清書 することができたか。(提案書)</p>	
三 9	<p>○「図書館利用アップ作戦」発表会を行 い、表現の工夫、提案に対する自分の 考えを交流する。</p> <p>・提案書を読み合い、交流する。</p> <p>〈視点〉</p> <p>①表現の工夫</p> <p>②提案に対する自分の考え</p> <p>・推薦する提案書を紹介し合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>○提案書を読み合い、よさを見付ける という目的をもって、交流させる。</p> <p>○「説得力のある表現の工夫」「提案に 対しての自分の考え」を視点にして 感想を付箋紙に書いて交流させる。</p> <p>○推薦する理由を明確にして紹介させる。</p> <p>○推薦された提案書を実物投影機で写 し、解決策のアイディアと共に提案 書の表現の工夫に着目させる。</p> <p>○単元の学習を通してできるようにな ったことや身に付けた力は何かを振 り返らせる。</p> <p>☆他の児童の提案書を読み、視点に即 して感想を述べることができたか。 (付箋紙・ワークシート)</p>	

9 本時の指導【1組】

(1) 本時の目標


解決の具体的なアイデアを交流し、自分の考えを明確にする。

(2) 本時の展開


階	学 習 活 動	◎重要思考・言語操作 ○留意事項 ☆支援
導入 (五分)	<p>1 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>図書館利用アップするようなアイデアを交流しよう。</p> </div> <p>2 学習の流れを確認する。</p>	<p>○実態調査から、課題に対する解決策を考え、図書館の利用者、読書をする人たちを増やすにはどうすればよいかを考えることを確認させる。</p>
展開 (三十五分)	<p>3 提案の解決策の具体的なアイデアを交流する。</p> <p>(1) 考えたアイデアをグループで交流し合い、グループで疑問に思った点を質問したり、助言をし合ったりして検討し、提案を吟味して自分の考えを明確にする。 (グループ)</p> <p>視点</p> <p>① 提案には、問題となりそうな点はないか。 ② 提案は、数量や時間、場所などが具体的か。 ③ 提案は、効果を上げることができるか。</p> <p>(2) 自分のアイデアを見直し、アイデアシートに加除修正を加える。</p> <p>4 クラスワークでアイデアを発表し、自分のアイデアと比較する。 (全体)</p> <p>・出されたアイデアについて、感想交流する。</p>	<p>☆自分が図書館に行かない理由を考えさせ、何をどうすれば、どう解決すればもっと図書館に行けるのか考えるように促す。</p> <p>・実際に行動に移す時に、図書委員会に採用されるか、効果は望めるかどうか検討させる。</p> <p>◎アイデアシートをもとに、グループで疑問に思った点について質問したり助言し合ったりして検討し、提案を吟味し、自分の考えを明確にさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価</p> <p>実態の調査、ほかの事例を基に、解決策のアイデアを出している。(話し合い、アイデアカード)</p> <p>☆自分も行きたくなるような、やりたくなるような活動はないか考えさせる。</p> </div>
終末 (五分)	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>6 次の学習について知る。</p>	<p>○ 交流することにより、自分のアイデアが明確になったことを確認する。</p> <p>○ 提案書の書き方について学習し、学年のみんなや図書委員会に向けて提案書を書くことを確認する。</p>

10 板書計画

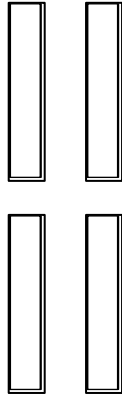
その他



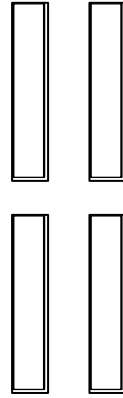
イベントの展開



図書館をより魅力的な場所に



視
点



〈解決策の具体的アイデア〉
本の魅力を伝える

学習課題

図書館利用アップするようなアイデアを交流しよう。

提案しよう！図書館利用アップ作戦！

① 提案には、問題となりそうな点はないか。
② 提案は、数量や時間、場所などが具体的か。
③ 提案は、効果を上げることができるか。

9 本時の指導【3組】

(1) 本時の目標

提案書の下書きを相互評価し、より分かりやすく、説得力のある提案書にするために助言し合うことができる。

(2) 本時の展開

時	学 習 活 動	◎重要思考・言語操作 ○留意事項 ☆支援
導入 (五分)	1 本時の学習課題をとらえる。 学習課題 より分かりやすく、説得力のある提案書にするために、助言し合おう。	○より分かりやすく、説得力のある提案書にするために助言し合うことにより、自分の表現を見直すことが本時のねらいであることをつかませる。
	2 学習の進め方を確認する。	○学習の内容や流れの見通しをもたせる。
展開 (三十五分)	3 提案書の下書きの文例と推敲後の提案書と比較し、どこをどのように推敲したのかを見付ける。(個)	◎論の展開や表現に工夫のない下描きの文例と推敲後の文例とを比較し、どこをどのように修正すると説得力のある表現になるのかを検討させる。
	4 修正箇所をペアで確認する。(ペア)	
	5 修正箇所を話し合い、分かりやすく説得力のある提案書にするための推敲の観点について全体で確認する。(全体)	○提案書が説得力のあるものとなるよう、以下の3点を推考の際の観点として示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な事実に基づいた理由と提案 ・具体性のある内容、表現の工夫 ・根拠を示しながら反論を否定 </div>

<p>展開 (三十五分)</p>	<p>6 グループで提案書の下書きを読み合い、相互評価する。 (グループ)</p> <p>7 助言された内容で、自分の表現に生かしたい点を下書きに書き込む。</p> <p>8 助言された内容や参考になった点を発表する。</p>	<p>○アイディアシートと下書きを比較しながら、観点に即して、相互評価させる。</p> <p>◎下書きを読み合い、付箋紙に良い点や改善点をメモして相手の下書きに貼らせ、交流させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価 提案書を読み合い、良い点や改善点を具体的に助言している。 (付箋紙・観察) ☆推敲の観点や板書を手がかりにして、助言の観点をとらえさせる。</p> </div>
<p>終末 (五分)</p>	<p>9 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>10 次時の学習内容をつかむ。</p>	<p>○相互評価により、自分の考えが深まり、提案書がより説得力のある内容になることを確認する。</p>

10 板書計画

3 まとめ

3 まとめ

2 提案

2 提案

1 問題点と提案の方向性

下書きのモデル文

1 問題点と提案の方向性

推敲後のモデル文

○すいこのポイント

①考えにつながりがあるか。

③具体的に説得力のある提案になっているか。

児童から出た指摘

学習課題

提案しよう！図書館利用アップ作戦！

より分かりやすく、説得力のある提案書にするために、助言し合おう。